

平成13年度 和歌山県文化功労賞

なか の えい じ 中 野 榮 治

住 所：和歌山県和歌山市

出 身 地：和歌山県伊都郡高野口町

生 年：大正14年

◎業績及び経歴

大正14年に伊都郡高野口町に生まれた氏は、昭和22年、立命館大学に入学し地理学を専攻する。卒業後は、県立高校で地理教育に携わるとともに、歴史地理学の研究に努めてきた。

昭和47年から和歌山大学、昭和61年から大阪府立大学の講師を務め、昭和63年から近畿大学教養部助教授、平成3年に同大学教授として紀州の歴史地理学を研究。その間、昭和55年に開催された第24回国際地理学会議(IGC)東京大会では、歴史地理部門で研究発表を行い、また、紀州に関する著書、論文を多数発表するなど、本県の歴史地理学の振興に貢献してきた。

これらの成果は、昭和46年和歌山市史、昭和53年かつらぎ町史、平成2年海南市史の編纂委員などに就任し、数多くの市町村史の編纂に携わり、県史執筆委員として県史編纂にも関わってきたことに現れている。

また、昭和55年に和歌山地理学会の発足に尽力され、昭和60年から3年間、同会の会長として会の運営に携わる傍ら会員を指導し、地理教育に及ぼした功績は大きい。

一方、文化財保護にも昭和49年から現在に至るまで和歌山県文化財保護指導委員として、和歌山市内の国・県指定文化財並びに埋蔵文化財の保存に尽力されてきた。

平成9年から社団法人和歌山県文化財研究会常務理事に就任するほか、平成10年からは、ふるさと教育副読本編集副委員長として「わかやまDE発見」の刊行に携わり、文化財の再発見にも寄与す

るなど、本県の文化財保護に対する氏の功績は多大である。

■現在

和歌山県文化財保護指導委員
社団法人和歌山県文化財研究会常務理事
高野口町文化財保護審議委員会副委員長

■主な表彰歴等

昭和51年 和歌山県教育研究奨励賞
昭和60年 和歌山県教育功労賞
平成6年 日本地理学会永年会員功労賞